

# た ひよこ 市議会だより

No.65

令和5年1月1日発行



## 9月定例会・10月臨時会

- ◎ 議案審議…………… P2
- ◎ 臨時会…………… P4
- ◎ 審議した議案…………… P5
- ◎ 一般質問…………… P6
- ◎ 各委員会の開催状況…… P20

発行 ●高知県香南市議会  
発行人 ●高知県香南市議会議長



# 令和4年 香南市議会9月定例会

## 議案質疑

9月定例会は、8月31日から9月21日まで開催された。

専決処分報告2件、令和3年度香南市一般会計決算認定、香南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例、令和4年度香南市一般会計補正予算（第2号）など20議案が審議された。

議案のうち、令和3年度香南市一般会計決算認定を始め各会計決算認定8議案については、決算審査特別委員会に付託して継続審査となり、その他の議案は、いずれも全員賛成または賛成多数により可決された。

主な質疑内容は以下のとおり。

### 議案第67号

高規格救急自動車更新業務契約の締結

### 問 車両の更新事由は

救急車の更新基準は、経過年数7年または走行距離10万kmとされているのだが、今回の更新事由は。

また、他の救急車の今後の更新予定は。



### 答 年数・距離ともに充足

山崎 消防長

対象車両は、オイル漏れや電気系統のトラブルなどが頻発し、エンジンも一度載せ替えており修理困難な事象も発生している。導入から12年が経過し、走行距離も35万4192kmとなっており、ともに更新基準を満たしている。

今後の計画では、令和7年度と10年度に1台ずつ更新予定だが、防衛省の補助金や一般財団法人空港振興・環境整備支援機構の助成事業を活用する予定で計画の前倒しや延伸も有り得る。

### 議案第68号

令和4年度香南市一般会計補正予算（第2号）

### 問 人材育成や継続性の計画は

システム内製環境構築業務は、現場に適した柔軟なシステム開発が職員サイドで可能になることから、活用できれば高い効果が期待される。人材確保や育成、開発されたシステムの継続性、汎用性等の計画は。

### 答 チーム体制の活性化

北村 総務課長

導入するシステムは、マウス操作で設定するだけで入力画面が自動作成されるなど事務の効率化のための製品で、開発や運用面でのノウハウの蓄積が容易にできるものとなっている。

人材確保は重要で、情報政策部門の体制強化も検討しているが、事務の効率化を求めることによる活性化、チームで進めることによるノウハウの共有により、開発人のみに依存しない体制づくりを行っていききたい。構築されるシステムの構造は

基となる様式等と同じであり、担当職員から見ると内部構造が不明になることはない。必要に応じて情報の追加や削除も可能で、将来的な利活用も可能と考えている。

### 問 次年度以降も実施か

幼稚園長期休暇配食サービス委託事業の実施経緯と今後の計画は。

### 答 アンケートで事業評価

小松 こども課長

本年5月30日に、保護者から幼稚園での給食実施の切実な要望があり、保育園との格差解消、保護者の負担軽減、幼稚園の利用率引き上げを目的に給食サービスを起案した。



夏休みの配食お弁当

次年度に向けて、事業評価のために幼稚園の保護者や職員にアンケートを行い、夏休み以外の休暇の対応が可能か業者と協議していきたい。

議案第69号

令和4年度香南市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

### 問 市販薬控除制度の周知を

新型コロナウイルスの急拡大で外来診療が受けられず、在宅で市販薬を活用したという声も多く聞く。セルフメディケーション税制についての普及啓発も必要では。



### 答 周知方法を早めに検討

宮嶋 税務収納課長  
健康診断や予防接種を受けている人で、特定一般用医薬品の

年間購入費が1万2千円を超える場合の所得控除制度であり、従来の医療費控除と選択ができる。

高知市のホームページには既に制度の掲載があり、本市の周知方法も早めに検討したい。

議案第75号

夜須認定こども園新築工事(建築主体)請負契約の締結

### 問 認識誤り等の調査は

入札記録では、応札者3者のうち2者が最低制限価格より3千万円程下回り、失格になっている。

仕様についての認識誤り等があったのでは。調査の考えは。

### 答 確認以上のことはしない

村山 住宅管財課長  
委託業者に確認は取るが、既に入札結果が出ているので、それ以上のことをする必要はないと思ってる。

### 総務常任委員会審査

2議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。主な質疑内容は、以下のとおり。

議案第64号

香南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

### 問

前回の定例会で職員定数の条例改正等もあり、育児休業の取りやすさも向上しているかと思うが、今改正により国家公務員とほぼ同じ状況になるとい認識でよいか。

### 答

北村 総務課長  
4月1日施行の改正分と今回の10月1日施行の改正を以て、国家公務員とほぼ同様の内容で取り組むこととなる。



議案第65号

香南市手数料条例の一部を改正する条例

### 問

他市では、マイナンバーカード所有者は多機能端末のみならず、窓口でもカードを提示すれば手数料の減免が受けられるところもある。本市では、高齢や身体障害等により多機能端末が使えない人はカードを所有していてもメリットが得られないことになるが、取扱いについての検討は。

### 答

恒光 市民保険課長  
他の自治体の事例も参考に、本市として取り組める事業があれば積極的に取り入れていく。

### 問

コンビニは年間を通じて営業しており、市内10カ所他にも全国各地でも買物ついでに住民票等の取得が可能となり、飛躍的に利便性は高まる。一方で、市役所に来庁し申請用紙に記入して取得する人もいるが、行政としての公平性に付いての意見はなかったか。

### 答

恒光 市民保険課長  
その様な意見は出ていない。  
コンビニ交付を開始した理由は、利便性の向上と窓口の混雑緩和であり、費用対効果を重視したのではない。

### 産業建設常任委員会審査

4議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。主な質疑内容は、以下のとおり。

議案第72号

令和4年度香南市水道事業会計補正予算(第2号)

### 問

水道料金の減免は経済対策の一環と思うが、起案の経緯と減免の対象は。

### 答

寺田 上下水道課長補佐  
国の補正予算で交付金が追加されたこともあり、コロナ対策の経済対策チームで水道事業としての対策を協議した結果、全国的にも約40%の事業体が減免対策をしており、今回の事業を計上した。  
対象は、官公庁を除く上水道

を使用する市内全ての家庭、事業所である。

### 問

施設整備工事費の補正で、工事請負費が1300万円増額されているが、当初予算の倍近い金額に膨らんでいる。積算に誤りがあったのか。

また、職員に積算できる者を配置しているか。

寺田 上下水道課長補佐

### 答

資材高騰も増額の理由の一つだが、和田橋水源地のポンプ取り替え工事をする中で、機能強化をすることになった。職員も現場で確認し、交換するか否か納得した上で積算した結果、当初予算と合わせて2400万円の工事をするに至った。

職員の専門性を高め、積算能力等を向上できるよう人材育成も考えていきたい。



和田橋水源地

## 教育民生常任委員会審査

3議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。主な質疑内容は、以下のとおり。

議案第69号

令和4年度香南市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

### 問

特定健診事業費の県への精算返納金が、当初予算の60万円から176万円になった原因は。

恒光 市民保険課長

### 答

特定検診は、受診率の目標を40%に設定して取り組んでいるが、昨年度は暫定値で33.3%になっている。新型コロナウイルスの影響で受診率が上がらなかったこともあり返還となった。



### 問

傷病手当金の制度内容は

恒光 市民保険課長

### 答

新型コロナウイルスに感染または感染疑いのある国民健康保険加入の給与所得者に支給する制度金となっている。

議案第71号

令和4年度香南市介護保険特別会計補正予算(第1号)

### 問

ニーズ調査業務委託料310万円の減額理由と事業者の選定方法は。

都築 高齢者介護課長

### 答

当初予算では調査費のみで計上だったが、債務負担行為を起こし、令和5年度の計画策定の事業者に一括して委託することで事業の効率化を図る。

調査と計画までを、公募型プロポーザル方式で業者選定し、随意契約をする。

# 令和4年 香南市議会 10月臨時会

任期

令和8年1月30日まで

### 問 選任の経緯は

北村 総務課長

高知県職員から割愛派遣として選任予定。県下で同様の事例は南国市、須崎市、北川村で行われている。

任期後の人事は再び人事交流を図るのが考えていない

濱田 市長

### 答 考えていない

行政経験の足りない部分を補ってもらい、一緒になって外からの新しい視点、ニュートラルな視点で行政に取り組んでもらうことを期待している。

新たな副市長と共に進もうとしている段階なので、今の段階においては再度の人事交流や、新たな県職員を選任する可能性は考えていない。

### 提案理由

前副市長の退任(令和4年2月1日)に伴い、新たに選任したいため

別府 誠 氏

議案第76号

副市長の選任

副市長



## 審議した議案

### 9月定例会の審議結果

- 専決処分報告 (2件)
- 令和3年度香南市一般会計決算認定
- 令和3年度香南市国民健康保険特別会計決算認定
- 令和3年度香南市後期高齢者医療保険特別会計決算認定
- 令和3年度香南市介護保険特別会計決算認定
- 令和3年度香南市水道事業会計決算認定
- 令和3年度香南市公共下水道事業会計決算認定
- 令和3年度香南市農業集落排水事業会計決算認定
- (以上8議案は決算審査特別委員会に付託し継続審査)
- 香南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成可決)

● 香南市手数料条例の一部を改正する条例 (賛成多数可決)

● 高知県広域食肉センター事務組合規約の一部を変更する規約 (賛成多数可決)

● 高規格救急自動車更新業務契約の締結

● 令和4年度香南市一般会計補正予算(第2号)

● 令和4年度香南市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

● 令和4年度香南市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)

● 令和4年度香南市介護保険特別会計補正予算(第1号)

● 令和4年度香南市水道事業会計補正予算(第2号)

● 令和4年度香南市公共下水道事業会計補正予算(第2号)

● 令和4年度香南市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)

● 夜須認定こども園新築工事(建築主体)請負契約の締結 (賛成多数可決)

● (賛成多数可決)

### 10月臨時会の審議結果

● 専決処分報告 (1件)

● 副市長の選任

● 令和4年度香南市一般会計補正予算(第3号) (全員賛成可決)

### 反対討論

馴田 文雄議員

議案第65号  
香南市手数料条例の一部を改正する条例

日本共産党は、当初からマイナンバー制度自体にプライバシー権侵害のおそれや情報漏洩の可能性などから反対してきました。

カード普及への政策的誘導のために、基礎的業務である住民票発行等の業務を利用することの是非や、コンビニで取得可能になるという利便性の向上に加えて金銭的なインセンティブを上乗せすることの公平性の観点から問題であり、更に、日常生活において様々な困難に直面している人たちに相対的に多くの支出を強いることにもつながりかねず、今回の改正案には賛成できない。

### 第103回9月定例会 審議結果 (全員賛成以外のもの)

	結果	林	川久保	山本	岡本	小泉	片山	宮崎	土居	樽本	馴田	宮城	眞辺	北岡	上田	西内	百田	山中	中屋	北本
議案第65号 香南市手数料条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第75号 夜須認定こども園新築工事(建築主体)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	○	○	○	議長

※「○」は賛成。「×」は反対。「議長」は採決に加わらない。

# 市政全般についての 一般質問

9月定例会においての議員一般質問の質問事項は、以下のとおりです。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
① 眞辺 慶一 (7ページ)	1. 防災施策 2. 道路施策 3. 南国安芸道路周辺整備事業	⑧ 宮崎 晃行 (14ページ)	1. コロナ対策・ワクチン行政 2. 農業施策 3. 環境行政 4. 地方公会計
② 小泉 潤 (8ページ)	1. 人生支援計画終了	⑨ 岡本 司 (15ページ)	1. 農林水産支援 2. 子育て支援 3. 高齢者支援
③ 百田 年真 (9ページ)	1. 漁業支援 2. 地域おこし協力隊・集落支援員 3. 塩谷・住吉海岸へのゴミ投棄 4. 地区懇談会後の対応 5. 市道の整備	⑩ 上田 瀧雄 (16ページ)	1. 豊かな自然・歴史資源等を活用した新しい観光行政 2. 環境行政の強化
④ 北岡 栄二 (10ページ)	1. 副市長の選任 2. Aコープかがみの閉店 3. 市営住宅の入居資格制限 4. 障がいのある方への可燃ごみ戸別収集 5. 介護認定者のコロナ感染対応 6. 合併浄化槽及び住宅リフォーム並びに太陽光発電補助金の適正 7. 上下水道料等納入証明書の適正 8. 空き地等の適正管理条例・規則の適正運用	⑪ 樽本富佐子 (17ページ)	1. 樹木や草花の保護 2. 多様な性を認め合う社会 3. 夏休み期間のプール活用 4. 教育費の保護者負担軽減
⑤ 土居 りえ (11ページ)	1. 健康福祉施策 2. 安心安全な道路環境整備 3. コロナ感染症支援施策	⑫ 馴田 文雄 (18ページ)	1. 手話言語条例制定を 2. 加齢性難聴者の補聴器購入への補助を 3. 消防団員の確保に向けて 4. 今後の国民健康保険制度 5. 新型コロナウイルスでの自宅療養者への支援体制は
⑥ 片山 透 (12ページ)	1. 香南市人生支援計画の終了	⑬ 林 道夫 (19ページ)	1. 市内介護事業所の経営状況 2. 農福連携の推進 3. 多様な性を尊重しあうまちづくり事業
⑦ 川久保不可 (13ページ)	1. 「統一教会」との関係の有無 2. 新型コロナウイルス感染症 3. キャッシュレスインフラの整備 4. 支所機能の充実に向けて 5. 放課後児童クラブ民営化 6. 保育所待機児童の解消		

次ページ以降の一般質問は議員本人による要約内容になっております。



越流する下井川

## 防災施策



眞辺 慶一議員

### 問 被災するのは市民

物部川統合堰から引水する灌漑水路施設は物部川土地改良区連合の管理だが、近年の雨の降り方や宅地化の急速な進展等、灌漑水路を取り巻く環境の変化により、一部の場所では水路からの越水が見られる。

変化に対応した水路の改良が早急に望まれる。これまでの取り組み、課題、今後の対応を問う。

### 答 災害防止に努める

岡崎 建設課長

野市町内の幹線水路でも、集中豪雨による影響は受けている。中心部における宅地化の進行によるものと考えられる水路の急激な水位の上昇が、特に下流域では見受けられ、農地の冠水等の発生も見られる。

このため、幹線水路の上流部で、降雨による増水量の一部を物部川へ放流する放水路の整備に取り組み、年度内の完了を見込んでいる。さらに、現在建設中の高規格道路の北側に新たな下井川を県が整備しており、本市でも、現在の下井川の流末部分に遊水池の整備を進め、被害の軽減を図る。

今後は、宅地開発地における雨水浸透ます設置を継続して進め、対策工事の早期完了に努め、物部川土地改良区連合とも協議を行い、幹線水路の対策について検討をする。

### 問 何度も同じ場所が浸かるは行政の敗北

清水川の流域は、市職員駐車場、東コミュニティセンターなど、耕作地を埋め立て開発が続いている。清水川、前田川の排水機能力、運転操作、水門

操作等、見直しが必要と考えるが、これまでの取り組み、課題、今後の対応を聞く。

### 答 維持管理は適切

小松 農林水産課長

水門は県より管理委託を受けており災害が予見されるなど、必要な場合に操作を行う。通常は内水排水のため、通年開門の状態。気象状況や洪水警報、津波警報などで河川水位が上昇する場合や県の指示により開閉操作を行うが、ここ数年は操作を行っていない。

### 問 排水機場の運転操作は

香宗川へ、水門を開けての排水ポンプ運転操作方法の調査を求める。

### 答 調査進め必要な対策をとる

岡崎 建設課長

現在、水門を開けた状態で排水機場のポンプを運転している。

また、効率的に内水を排水する方法について委託業者で検討を進めている。今後は、必要な対策や方向性の検討を進め、本

地域での浸水被害が少しでも解消されるよう努める。

## 道路施策

### 問 市道の改良工事進捗は

市道新宮深瀬線改良工事の取り組み、課題、今後どうするか。

### 答 早期完了に向け取り進む

岡崎 建設課長

岩松橋の架け替え工事と併せ県道山北野市線までの約780mの改良計画としている。

工事は野市中学校入り口付近までの第1期工事区間と、それより東側の第2期工事区間とし、現在、第1期工事区間のうち、職員駐車場から山下公民館までの約270mの改良工事が発注済み。

現在は、第2期工事区間において、隣接する土地所有者の理解と協力を得なければならぬ区間の計画決定が課題。

今後は、第1期工事区間の早期完了に向け、計画的な工事発注を行いながら、第2期工事区間の計画決定に向けた地元及

び土地所有者等との協議を進める。

### 問 陳情のその後は

道路拡幅の要望、陳情書の取扱いについて。

平成26年11月3日、133人の陳情名をもって陳情しているダイキ東側からダイナム野市店北側を通過して駅前南北線までの間。これまでの取り組み、課題、今後どうするのか。

### 答 一部実施予定

岡崎 建設課長

27年5月に工事の実施は困難であり、今後の検討課題と返答した。その後、南国安芸道路の整備に伴う周辺整備事業の対象地域に本路線の一部が含まれることとなり、ダイキ野市店の東側の南北の道路区間について、周辺整備事業に係る覚書の交換に至っており、覚書期限の令和7年度末までの実施を予定している。

残るダイナム野市店の北側の東西の道路と東側の南北道路の一部は、引き続き検討していく。

# 人生支援計画の終了



小泉 潤議員

**問** 計画を終了する最大の理由は

事業をゼロベースで検証し、廃止を含めた見直しを行うところだが、内容は。

**答** 計画という形で一定の役割を果たした

濱田 市長

計画自体、一定の役割を果たしており、今後はより実行型で、効果的・効率的な課題解決を図り、できる限り早い時期に新たな展開に向かう為に本年度での終了を決断した。

**問** 終了に関して各委員からの意見は

**答** 終了後も、市民の意見の発信する場を

濱田 市長

「部署を超えた課題や、みんなで協議する中で新しい事業もできた」また、「議論する範囲が広すぎてテーマが絞り切れなかった」など複数の意見や、「今後は、市民の意見を発信できる場所を確保してほしい」等の要望が出た。

**問** 検証する中での問題点とは

**答** 対象年齢の幅が広く、目標設定と具体的な取り組み方法を決定することが困難だったり、広範囲に渡るテーマに対応するための事務作業の増加と煩雑さも問題点の一つである。

濱田 市長

**問** 市民の声を見える化とは

**答** 様々なツールを使う

濱田 市長

人生支援計画ではなく、ホームページや広報など様々なツールを使って、個別計画の見える化ができるかを第一に考える。

**問** より実行型で効果的・効率的な取り組みとは

個別計画などにプロジェクトチームをつくり対応するとあるが、その内容は。

**答** 12ある個別計画を磨き上げ充実させる

濱田 市長

市として重点的に取り組む施策や、複数の課、世代にまたがる問題について、解決に向けて横断的に取り組む為の組織としてプロジェクトチームをつくる。

**問** 計画の中から施策に反映した内容は

幼年就学期部会・成年熟年期部会・高齢期部会3部会で話された中で、提言された内容は。

**答** 幼年・就学期部会

小松 こども課長

令和元年度から、LINEを活用した情報発信、特定不妊治療の一部助成の拡充など、施策へ反映をしている。

また、テーマを子どもと親の居場所づくりとし、ファミリーサポートセンター事業の利用の拡充や子どもの遊び場確保事業など、委員から様々な意見ももらい、施策の後押しになった。

**答** 成年・熟年期部会

猪原 生涯学習課長

令和3年度は、人権啓発、移住促進、健康増進に焦点を当て、協議を行った。移住促進では、市の魅力をSNS等を活用し情報発信に力を注ぐ必要性から従前より実施している広報誌やホームページ、インスタグラムでの情報発信に加え、ラインや移住ポータルサイトの活用により、ホームページのアクセス件数が大幅に増えた。

また、空き家バンクはまちづくり協議会との連携による情報収集や現地調査により空き家の

掘り起こしにつながった。

**答** 高齢期部会

都築 高齢者介護課長

高齢者の生活支援をテーマに取り組み、可燃ごみ戸別収集事業を要支援1以上の高齢者世帯までの拡充した。また、医療機関送迎サービス事業では、要介護3〜5までの対象要件をケアマネージャーの調査を踏まえ、要支援1の認定者まで拡充した。

**問** 人生支援計画以上の計画ができるか

**答** 個別計画を充実させていく

濱田 市長

人生支援計画以上の計画や、それに類するものを作るのではなく、今ある個別計画を充実させることに注力し、多様性を重んじる社会の構築に向けて課題を解決するプロジェクトチームを作り取り組んでいく。



## 漁業支援



百田 年真議員

**問** 地産の強化に向けて行っていることは

**答** 生産性・効率性の向上を

小松 農林水産課長

香南市産業振興計画の水産業分野で、漁業活動に必要な水産機能施設、漁港に関する施設整備や、漁船導入事業等による漁業者の生産性の向上に向けた取り組みへの支援を実施し、効率的な生産体制の構築による漁業生産の維持へと繋げている。

**問** 流通、販売強化策は

第2期香南市産業振興計画策定に向けて、1期目での成果や2期目に繋げる主な取り組みは何か。

**答** 販売事業支援による漁業者の所得向上

小松 農林水産課長

流通販売の強化に向けた取り組みとして、シイラについては、高知県漁業協同組合手結支所の販売事業への支援を行っている。

漁協自らが入札に参加し、販売することにより、買受け業者間の競争が活気づき、浜値の底支えによる漁業者の所得向上を図ることに繋がっている。



**問** 市独自の担い手確保対策は

**答** 県漁業就業支援センター等と連携

小松 農林水産課長

以前は、市が新規の就業者へ補助金を出し、1〜2年就業支援を行っていた。

今後は高齢化も進み、このままでは減少していくので、確実に増やしていきたいよう取り組んでいく。

**地域おこし協力隊・集落支援員**

**問** 人数と配属先は

**答** 就農や移動、集落支援等に8人

岩田 地域支援課長

令和4年9月現在、地域おこし協力隊員は6人。集落支援員は2人。

配属先は、農林水産課でミカン就農に関わる者が2人、ニラの就農は1人。生涯学習課でマリンスポーツに関わる者が1人、高齢者介護課で高齢者の移動手段に関わる者が1人、地域支援課で移住相談に関わる者が1人。集落支援については、香我美町西川地区と岸本地区の集落センターに1人ずつである。

**問** 繁忙期以外のスポット派遣は

**答** ミッション型採用であり難しい

岩田 地域支援課長

地域おこし協力隊・集落支援員は採用段階からミッション型で人材公募しており、本市へ着任後の任用期間中は、それぞれがそのミッションに応じた具体的

的な地域の課題解決のための職務に従事することになる。

繁忙期以外でスポット派遣をする為には、一定、ミッションとの関連が必要であり、ミッションに関連しない業務への従事は、勤務時間外でのプライベートでの活動によると捉えている。

**地区懇談会後の対応**

**問** 児童遊園整備計画は

浸水地域にもなっているが、徳王子地区のゲートボール広場への遊具設置やプール撤去後の対策は。



徳王子児童遊園

**答** 年内に設計完了予定

岡崎 建設課長

本年度は改修の計画をおこなう。整備工事は来年度の計画。遊具の設置に関しては考えていない。

隣接するプールとも合わせて検討しており、プールの撤去工事に関わる設計業務を学校教育課が、徳王子児童遊園整備工事に関わる部分を建設課からそれぞれ発注しており、本年12月末には設計が完了する予定。

**市道の整備**

**問** 調査し予算付けを

徳王子大崎・西山地区の市道深敷線・市道西山線の道路整備の推進を。

**答** 計画に乗せ順次実施

岡崎 建設課長

当該路線の補装損傷箇所については、範囲が広いいため、市内全域を取りまとめて実施している補装補修工事の計画に乗せて順次実施していく。

## 副市長の選任



北岡 栄二議員

### 問 就任から7カ月未だ副市長不在

長期のコロナ、物価高、原油高、資材の高騰など市民生活は厳しい状況。市長を補佐する副市長はいづ選任するのか。

### 答 年内に選任

濱田 市長

来年度予算編成など重要な段階に入るので、副市長を年内に選任する強い思いで検討し、詰め段階に入っている。

## Aコープかがみ 閉店

### 問 閉店後の市民への影響は

3月の閉店後は香我美町民約6千人の多くが買い物難民になるという現実が。影響と対策は。

### 答 大きな影響は承知

濱田 市長

J Aがいろんな企業や団体と話をしていると聞いている。特に香我美町民の子どもや高齢者に大きな影響があると承知しており、何ができるか様々な政策を検討したい。



Aコープかがみ

### 問 アンケートの実施を

香我美町民のAコープ利用状況、交通手段の現状把握、来年4月閉店後の困り事、要望の声を対策に活かしては。

### 答 市民の声の参考に

濱田 市長

アンケートの提案は非常に参考になる。他のデータ活用も含め検討したい。

### 問 臨時市バスの運行を

閉店後の4月から新たな事業者の進出を楽観視せず、Aコープから赤岡・野市への臨時バスの運行を事前対策すべきでは。

### 答 参考となる提案

濱田 市長

J Aの状況や、閉店後の考えを聞いた上で提言を受け止める。

## 市営住宅の入居制限

### 問 税滞納要件は改善を

公営住宅法では、住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸し、生活の安定と社会福祉の増進を目的としており、税等の滞納を以って入居制限はしていない。法の趣旨を逸脱し弱者に鞭打つ制度は改善すべき。

### 答 法律は最小限の要件

村山 住宅管財課長

法の趣旨・目的に照らして適切な範囲内で要件を加重することは可能で、地方税等を滞納していないという要件は許容範囲。

### 問 市営住宅は福祉政策

市営住宅の入居資格制限は、他の補助金制度や国保等の制限とは全く政策的に整合性が無い。市営住宅を含め、全ての事務事業のゼロベースからの見直しを。

### 答 弱者視点で精査検討

濱田 市長

各補助金や要綱の在り方について、広く公平性を担保し市民に説明できるように検討をする。

## ゴミの戸別回収

### 問 障害者も対象へ

市の可燃ゴミ収集要綱では要支援、要介護が対象で、障がいのある人が排除されている。南国市は障がいのある人も対象であり、要綱に加えるべき。

### 答 事例があれば対応

坂本 福祉事務所長

障害福祉サービスで対応し、難しい状況になれば、要綱を改正して対応する。

## 要介護者のコロナ感染

### 問 在宅要介護者の対応

通所・訪問介護を受けている要介護3以上の人がコロナ感染した場合の介護サービスは。

### 答 ケアマネージャーと連携

都築 高齢者介護課長

介護サービスの変更が必要なる場合は、ケアマネが調整する。

## 合併浄化槽補助金

### 問 不公正な募集方法

合併浄化槽の補助金募集は、合併当時から毎年4月に市ホームページのみで掲載し、受付開始日や先着順である事も記載されていない。一部の知り得た人のみが優先される結果となっており、不公平な周知では。

### 答 スタートライン公正に

濱田 市長

募集開始日や先着順など、大切なことは丁寧に市民に届くよう広報の公平性の徹底を図る。

## 上下水道料納入証明

### 問 不適正な実施はいつから

市長名で発行する納入証明書に市長の公印が押印されていない。不適正では。

### 答 合併当初から

北川 上下水道課長

合併以後ずっと公印を押さずに証明書を発行してきた。早急に公印を押印したものに見直す。

困難な場合は市に連絡をもらい必要な対応に取り組み。



# 健康福祉施策



土居 りえ議員

## 問 男性用トイレにサニタリーBOX設置を

近年、高齢の男性を中心に前立腺がん、膀胱がん患者が増えている。治療を受けて治ったとしても、頻尿や尿漏れなどの症状が残る場合も多く、おむつや尿漏れパッドを利用する方が増えている。

また、本市においては、この10月、多様な性を尊重し合うまちづくり宣言『香南市にじいろのまち宣言』を予定している。トランスジェンダーへの配慮にもつながることから、環境整備として庁舎や公共の施設に設置を。

## 答 設置に向けて進める

村山 住宅管財課長  
これまで男性用トイレにサニ

タリーBOX設置の要望はなかったが、デリケートな問題でもあり、声を上げにくかった面もあるかと思う。今後は設置に向けて進める。

## カーブミラー設置について

## 問 設置目的・基準は

## 答 基準は特に定めていない

岡林 防災対策課長  
物や壁などが原因で、目視での確認が難しい見通しの悪い交差点やカーブなどに設置することによって、車両や歩行者の交通事故を防止することが目的。

設置基準は、特に定めてないが、地域住民や道路利用者からの設置要望により、現地調査を行い、目視での安全確認が困難な場所であることを判断した上で、公共性や緊急性を考慮し、優先順位をつけて設置している。

## 問 年間要望数は

要望数及び年間設置本数は。

## 答 本年度は新設26本

岡林 防災対策課長

年間要望数は、令和元年度、新設17本、移設5本、修繕7本、撤去2本で合計31本、2年度、新設29本、移設4本、修繕7本で合計40本、3年度、新設34本、移設2本、修繕11本で合計47本、本年度は8月末現在、新設26本、修繕5本で合計31本。年間設置数は、元年度、新設9本、移設5本で合計14本、2年度、新設14本、移設4本で合計18本、3年度、新設10本、移設2本で合計12本。

## 問 要望から設置までの流れは

担当職員一人の見解と価値判断で、カーブミラーの設置の可否が決まっていないか。市民の要望は、日頃から安全性に不安を感じての要望であり、要望理由をしっかりと汲み取り、複数での調査が必要と思う。

## 答 基本的に担当者が現地に行き判断

岡林 防災対策課長  
要望があったら、担当が現地に出向き、必要と判断した場合に設置する。担当者のみでは設

置の判断が難しいところも多々ある。その際には、複数の職員で現地確認を行った上で、設置する必要性を判断している。



## コロナ感染症支援施策

## 問 障害のある人への生活支援は

障害者生活支援サービスを利用されている人がコロナ陽性となり自宅療養となった場合、日頃受けている支援サービスが受けられなくなったという話を聞くと、支援について問う。

## 答 生活に必要なサービスを調整

坂本 福祉事務所長  
自宅療養になった場合の生活支援は、国の指針で、普段から障害福祉サービスを利用している場合、サービスのプランを立てている相談支援事業所が保健所と相談し、同居する家族等の

支援を含めて、居宅介護等の訪問系のサービスの必要性や代替案の検討を行い、生活に必要なサービスを調整する。

また、障害のある人が自宅療養をしている間も問題なく生活ができるよう障害サービス事業所、保健所、福祉事務所が連携し、個々のケースに応じて生活に必要なサービスの提供を行っている。

## 問 今後の対応は

第7波において、感染者対応に関わってきた医療従事者や高齢者施設の職員への給付金などの検討は。

## 答 ニーズをくみ取る

西内 企画財政課長  
2年以上にわたるコロナ禍において、支援ニーズにも変化がある。この先、コロナ禍が長引けば、新たな状況が生じることにも考えられる。状況に適宜対応できるように、国や県との連携を密にし、効果的な施策事業に取り組む。



# 香南市人生支援計画の終了について



片山 透議員

## 重要な位置づけの計画だが終了するのは

香南市人生支援計画は、最上位計画である香南市振興計画の基本計画のひとつとして位置づけられており、また、香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、「ひと」の部分を担う非常に重要な計画であると理解している。

本計画がなくても、市役所が人生支援することは当たり前であり、個別計画を磨き上げることによって対応していくとの発言があったが、香南市人生支援計画を終了してもよいのか。

## 答 社会状況の変化に対応

濱田 市長  
計画がまず大切ということは

重女承知しており、それによって施策が動くのは当然である。

しかし、時代の流れ、そして様々な社会状況、人の人生というものは日々刻々と変わっており、それに対応していくことも一方が必要である。

本計画が占める大きさ、役割は認識しており、体系の中で個別計画が入ることでは無く、それに合わせてしっかりとしたまちづくりの基本目標、施策大綱を我々自身でつくり上げていく作業をこれから始めた

## 問 策定義務等を整理して体系の再構築は

国の立法施策による策定の義務、努力義務、できる計画を整理して、再構築する考えはないか。

## 答 近い将来に見直し時期の到来を認識

西内 企画財政課長

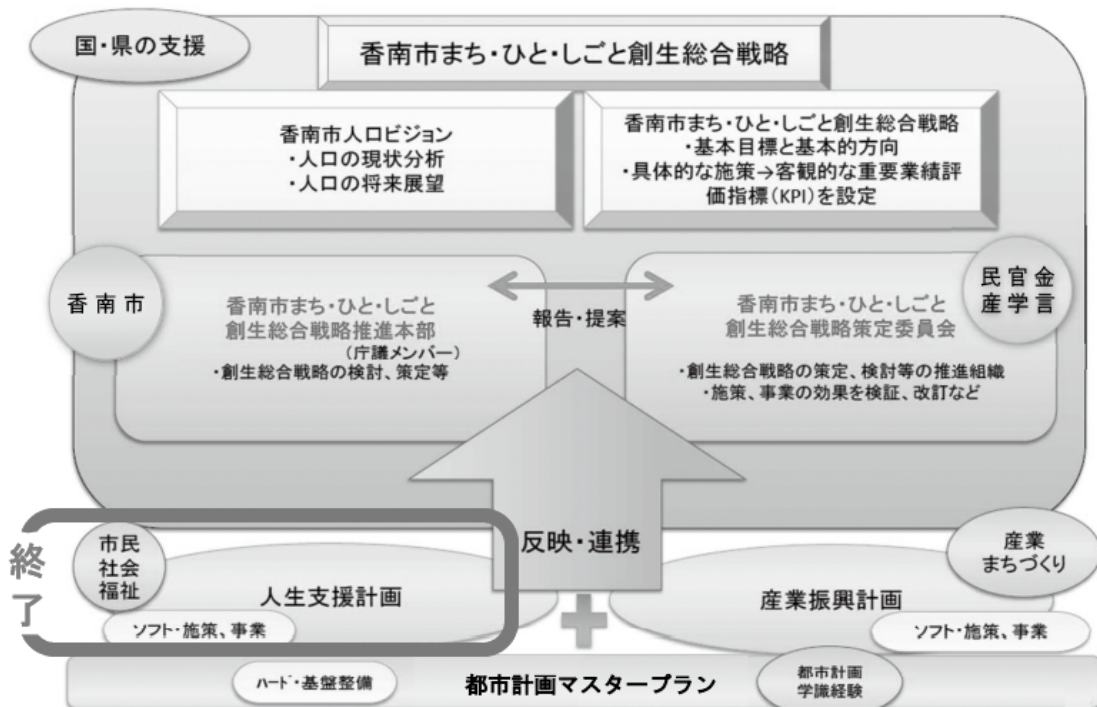
様々な計画には作成に至る経緯・理由がある。振興計画、あるいは総合計画という言い方もするが、かつてはその基本構想部分については、自治法の規定があり、それに従って作成して

いた。平成24年度頃に、その規定がなくなり、策定するかあるいは作り方も含めて、各自治体の裁量に任せられた状態になった。

本市としては、自治法の規定があったときと同じように、振興計画の基本構想については議会の議決を得て策定する形で、現行の第2次振興計画も定めている。

また、まち・ひと・しごと創生総合戦略については、現在のところ、国の考えとして、年内をめどにデジタル田園都市国家構想総合戦略といったものに大きく衣替えをする方針とも聞いている。

したがって、近い将来、ここ数年を取り組んできた本市の骨格を成す計画について、大幅な見直し、再構成という時期が、いや心なく来ると考えている。本市として、これから目指す目標というのは変わることはないが、それを実現するための計画・戦略としては、いま一度、これから先10年、20年を踏まえて、いろんな情勢、国の動向も含めて、見直す時期が来たという認識もしている。



## コロナ感染症第7波 対応



川久保 可不可議員

### 問 高齢者に情報が届かない

本市でも一時は1日100人を超える感染者数を記録し、患者が医療機関に電話をかけてもつながらない、発熱外来に受診できないと逼迫した状況に陥った。

またインターネットの環境がない、スマホが使えない高齢者が情報を得られない場面があった。患者をスムーズに発熱外来に誘導、受診できるように知らせる対策が必要ではないか。

### 答 電話相談やケーブルテレビで

伊藤 健康対策課長

県は発熱外来の逼迫を避けるために高知県陽性者診断センターを開設し、16歳以上65歳未

満で、基礎疾患がなく、妊娠中でなければオンラインでの診療を行い、重症化のリスクがある高齢者が発熱外来を受診しやすくなった。

一方で、スマートフォンの操作に慣れていない高齢者や、ネット環境が無い人は情報が限られることから、広報誌での医療機関の情報掲載も検討したが、感染状況や県の医療体制の変更等により情報にタイムラグが生じる課題がある。

健康対策課の電話相談や、ケーブルテレビ等の広報も活用し高齢者にも情報が行き届くようにする。

## キャッシュレスインフラの整備

### 問 地域型電子マネーの導入を

市はコロナ禍で、地域限定の商品券の発行や子育て支援金等の交付をしてきたが、前払いを必要とする場合、購入額の現金を準備する必要があり、余裕のない人には購入しづらい。また、口座に振込みでは市外の消費に使われ地域の経済が思うように活性化されない。また、紙の商品券では、都度印刷、販売、郵送の手間や時間、コストが発生する。

### 答 現時点での導入は困難

浜田 商工観光課長

地域型電子マネーの運営主体は商工会等の地域に密着した組織が多く、導入コストや手間、決済の手数料なども含め、事業費が必要となり、また各種のキャッシュレス決済サービスが浸透する中、地域型電子マネーを活用するメリットや運営体制の構築が難しいことから現時点では考えていない。

## 保育所待機児童の解消

### 問 ゼロ歳児の途中入所の受入れ状況は

### 答 9月以降空きがない状況

小松 こども課長

現在本市の施設は空きが無い。

く、他市町村に枠があれば広域利用、管外利用協議書を提出して入所してもらっている。

しかし、定員の超過は近隣市町村でも同様で、本市に協議書が送られてくるケースもあり、ゼロ歳児の入所は非常に厳しい状況。原因として必要数に対し有資格保育士の不足や、求人を出してもなかなか応募がないことがあげられる。



### 問 大胆なインセンティブを

公施設の求人条件に制約があるのなら、民間保育施設で働いている人に対して、家賃補助や宿舍借り上げができないか。

### 答 提案は重く受け止めている

濱田 市長

さまざまなり方を鋭意協議している。

迷った時に！  
救急車を呼ぶか 病院に行くか

高知家の救急医療電話

- 看護師や医師による救急医療電話相談
- 応急手当ての方法のアドバイス
- 相談内容により、119番や高知県救急医療情報センター等へ転送

令和4年8月1日から  
はじまりました。

#7119  
24時間無料通話

ダイヤル回線・IP電話からは 088-823-9922 (有料通話)

15歳未満のお子さまの夜間相談

こども救急ダイヤル

#8000  
20時～翌日1時  
有料通話

ダイヤル回線・IP電話からは 088-873-3090 (有料通話)

緊急時は、迷わず119番へ

高知県・県内市町村



## 国保施策



宮崎 晃行議員

### 問 制度の趣旨は

新型コロナウイルスに感染し、就労できなくなった場合の国保加入給与所得者に対する傷病手当金制度の趣旨は。

### 答 感染拡大防止の目的

恒光 市民保険課長

働く人が感染した場合に休みやすい環境を整備し、感染拡大を防止する目的で、国が緊急的、特例的な措置として財政支援を行うこととした。そのため、国保加入者にも傷病手当金を支給するもの。

### 問 傷病見舞金の検討は

第7波ではたくさんの方が感染し、自営業者も窮地に陥っている人がいる。

農業者や漁業者等の自営業者

への傷病見舞金の検討は。

### 答 状況を見ながら検討

恒光 市民保険課長

高知県では黒潮町が事業主を対象に独自の支援をしている。当初予想できなかったほどの感染拡大となったが、今後の感染状況の予想がつきにくい。状況を見ながら検討していきたい。

## 農業施策

### 問 相談内容は

昨年からの急激な燃油や資材の高騰は、本市の農業者にとって重大な状況である。どのような声や相談が寄せられているか。

### 答 深刻な声が届いている

小松 農林水産課長

燃油や資材の高騰による経費の増加分を販売価格に転嫁できないため、農業経営の継続に支障が出ている。設備投資をやめたり、経営が成り立たないなど、深刻な声が届いている。

### 問 支援事業はあるか

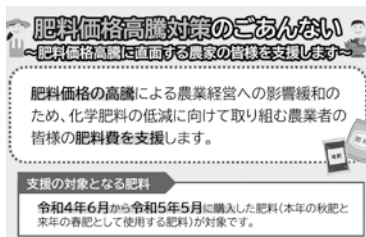
### 答 国・県の事業がある

小松 農林水産課長

燃油高騰への支援は、国の施設園芸セーフティネット構築事業がある。

肥料高騰への支援は、国の肥料価格高騰対策事業があり、一定の条件のもと、肥料コスト上昇分の一部を支援する。

県も9月補正予算において、支援措置をする予定。



国の制度のパンフレット(抜粋)

### 問 本市とこの支援は

本市として、肥料代等の補助制度を設けることについての見解は。

### 答 支援策を検討中

小松 農林水産課長

肥料高騰への支援策について

## 地方公会計

### 問 活用方針や課題は

地方公会計導入により、得られた成果をどのように活用していく方針か。また、活用していくための課題は。

### 答 市全体で取り組む

西内 企画財政課長

地方公会計に係る財務書類から得られる指標の中で、特に重要と考えているのが有形固定資産減価償却率。耐用年数に近づくと100%に近づくことにな

り、公共施設等の老朽化の傾向を把握できる指標となっている。また、これを有効に活用するため、固定資産台帳の更なる精緻化に取り組んでおり、来年度中には完了予定である。

今後の課題は、精緻化された固定資産台帳の情報と、耐震化の状況や利用者数、稼働率などの情報を組み合わせたものに、維持管理や修繕、更新などに係る中長期的な将来経費の見込みを加えた施設別カルテを作成すること。そして、それらを活用し、公共施設等の統廃合など、いわゆる適正化に向けた取り組みを具体化し、着実に進めていくことを考えている。

簡単な課題ではないが、次の世代に負担と責任を先送りすることのないよう、将来にわたって持続可能な施設マネジメントについて、関係各課も含め、市全体で共通認識を持って取り組んでいく。

資産名称	耐用年数	数量	取得日	取得価格(千円)	減価償却累計額(千円)	期末簿価(千円)
野市中央公民館	50	4,411	H8	1,955,000	938,400	1,016,600
夜須公民館	36	3,195	S59	878,625	632,610	246,015
サイクリングターミナル	47	1,267	S59	238,160	188,622	49,538

本市の固定資産台帳の一部(項目は抜粋)



## 農林水産支援



岡本 司議員

### 問 燃油等高騰対策

燃油等高騰緊急対策事業費補助金の内容は、また、酪農家への対策は。

### 答 考える必要がある

小松 農林水産課長

漁業用の燃油や養殖用配合飼料の価格高騰により厳しい経営状況にある漁業者及び養殖業者の経営の安定を図るため、漁協等が行う燃油等の購入に対する負担軽減を目的とする事業。

補助の対象者は、市内に住所を有する漁業者及び養殖業者で、漁業経営セーフティネット構築事業に既に加わっている者、または令和5年度に加わっている者で、県の燃油等高騰緊急対策事業費補助金の交付決定を受けた者。

補助対象経費は、4年7月1日から12月31日の間に購入した漁業用燃油及び養殖用配合飼料の経費。  
酪農家については、県の9月補正、補助も計上されている。配合飼料についてはセーフティネットがあるが、配合飼料以外



### 問 周知の仕方は

施設園芸燃油価格高騰緊急対策事業費補助金は、沢山の取次店があるが対象農家への漏れがないように対応を。

の飼料についてはセーフティネットの制度がないと聞いています。支援策を講じているようであれば、市としても考える必要がある。

### 答 対応をしてもいい

小松 農林水産課長

J A高知県土佐香美では、系統出荷・系統外出荷の購入についても、農業者の大半が組合員であり、周知は行っていくと聞いている。

### 問 単独補助を

肥料高騰分助成金については、本市はまだだが、独自で反あたりの補助はできないか。

### 答 近隣市と連携で

小松 農林水産課長

国の補助率は確定しているが、県の補助等があればそれも勘案しながら、南国市、香美市と連携し、同じような支援策を講じる。

国と市の補助を使うとなれば、国の提出用と市の書類と2種類になり、かえって煩雑になるのではないかと。国に上乘せの形にすると同じ様式となり農業者にとっても書類を作成する負担は軽減される。

### 問 継続補助を

水田活用交付金対象厳格化の内容と見直しを。

### 答 困難な品目も

小松 農林水産課長

地域で設定できる産地交付金を活用し、本市では、ニラ・メロン・トマトを始めとする野菜29品目やミカン等の果樹、花卉等への支援を行っている。

今後5年間に1度も水稲の作付が行われない農地について交付対象水田としない方針が示されている。

理由としては、今後、転換作物が固定化をしている水田の畑地化を促すとともに、水田機能を有しつつ転換作物を生産する農地については、水稲と転換作物とのブロックローテーションの構築を検討するため。最終年度より5年以上経過していれば、その年度以降、交付対象外の水田となる。

### 答 声を上げて行く

濱田 市長

実際に運用され出した後の農業者への影響は非常に大きいと承知しているが、国の方針である。農水省や国会議員に現状を伝えていく。

# 豊かな自然等活用 の新たな観光行政



上田 龍雄議員

## 問 手結メランジュの活用

地質学的に価値の高いメランジュという岩石がある。1億3千年前、赤道付近で発生した海底火山で噴出した溶岩が、6千万年かけて海洋プレートによって運ばれた混在岩のことで、住吉海岸にその露頭が見られる。観光に活用してはどうか。

## 答 PRしたい

🎙️ 浜田 商工観光課長

夜須町手結から住吉海岸、芸西村にかけて分布する岩石群は、メランジュ帯として世界的にも珍しいものである。ヤ・シーパーク、手結可動橋などと合わせ観光面から広くPRしたい。

## 問 塩谷海岸の磯遊び

住吉海岸につながる塩谷の磯は、多くの家族連れで賑わっている。小魚やヒトデなど、磯の生き物観察が出来る場所で、子供たちの社会教育的側面からも活用するのが大切と考えるがどうか。

## 答 一層の賑わいを

🎙️ 浜田 商工観光課長

塩谷海岸は手結住吉県立自然公園内にある風光明媚な海岸で、駐車場やトイレも整備されていて、磯遊びや生き物観察に最適な場所である。現に、県立青少年センターが、県内の小学生を対象に磯の生き物観察を年数回実施している。今後、官民一体で工夫したプログラムを作成して実施することで、観光地として一層の賑わいが生じるものと考ええる。

## 問 手結内港の歴史資源と可動橋の発信

手結内港は、1653年野中兼山によって、わが国初の本格的掘り込み港として完成したもので、江戸時代初期のものとして、最大級と言われ歴史資産としての価値も高い。この港に築港に関する石碑があるものの、ペイントが消えて一部読めない状態である。修復を願いたい。

また、内港入り口に架かる可動橋（通称跳ね橋）の人気も高く写真を撮りに来る人も多く、内港とセットで発信して観光客誘致を図りたい。



可動橋

## 答 情報発信したい

🎙️ 浜田 商工観光課長

手結内港は、掘り込み式石積港として残っている現役の港で、小学3・4年生が学ぶ社会科副読本「香南のくらし」にも紹介されていた。また、内港入

り口に架かるはね橋は、その珍しさからテレビやCM、映画のロケ地として利用されたりと人気の場所である。今後もエリア観光推進の視点から、PR、情報の発信に努めたい。

## 問 臥竜柏の案内板設置

1182年、夜須七郎幸家が、船出の時に植えた樹齢800年を超える柏の木が手詰薬師堂境内にあり、竜が地上を這っている姿のようだと、臥竜柏と名付られる。これら資源を観光に活かし、流入人口の増加による恩恵が地元住民や、漁業者、小売店などに反映されるよう、取り組みを願いたい。入口が分からない。案内板の設置はできないか。

## 答 検討する

🎙️ 猪原 生涯学習課長

薬師堂の入口の表示は地元からの要望で、令和2年に撤去している。看板の設置にあたっては、地区住民の了解が必要になる。

## 問 市長の見解を聞く

## 答 地区と協力して取り組みたい

🎙️ 濱田 市長

手結・住吉地区を含めた様々な観光資源の重要性についてはよく認識している。私も、カヤックで夫婦岩付近を海上から見たり、臥竜柏も観察し、素晴らしい観光資源とその必要性を肌で感じている。議員が今準備している、手結・住吉地区活性化協議会（仮称）を含め、地域からのニーズを市や県が生かすという方法も必要なので、ともに協力して取り組みたい。

## 問 環境政策の強化

本市の広い地域の環境を監視する環境監視員の人数、活動内容、報酬について聞く。

## 答 監視員は5人

🎙️ 西内 環境対策課長

監視員は旧町ごとに各1人で総数5人。報酬は月額5500円、活動は月1回の定期パトロールに加え、日頃よりそれぞれの地域の環境監視をお願いしている。



## 樹木や草花の保護



樽本 富佐子議員

### 問 維持管理の仕方は

コロナ禍にあって活動が制限されることが多く、公園の樹木や草花は心身をリフレッシュできる大切な場所である。

日常の管理はどのように行われているか。また、樹木医などによる樹木の定期的な点検は行っているか。

### 答 委託や地域の協力で

🎤 岡崎 建設課長

167カ所の公園のうち78カ所は、委託により草刈りや剪定などの植栽の維持管理を行っている。その他の公園は地元住民の協力により管理されているが、高木の剪定や樹木の伐採などは市による対応も行っている。

専門家による点検は現時点では行っていないが、街路樹も含めて検討していく必要がある。

### 問 あじさい街道への支援は

野市町のあじさい街道は、6月には市内外からたくさんの方が訪れ喜ばれている。

地域の人を中心に手入れをし、近年は中学生のボランティアも受け入れていると聞いている。今後も地域の尽力で維持されていくことになると思われるが、市はどのような支援をしていくのか。

### 答 環境美化活動として

🎤 西内 環境対策課長

不法投棄を阻止する試みとして、平成7年に地元の2人があじさいを植えたことが始まりで、現在は地元有志があじさい街道を守る会を組織し、活動を続けている。

市は、肥料や除草剤、花の見頃の時期の臨時駐車場や簡易トイレの設置、次年度に向けての剪定作業の委託、案内看板の設置などの支援を行っている。

多くの来場者への対応や組織の高齢化など、活動の困難さは承知している。今後は、早い段階から「あじさい街道を守る会」に意見を聞いていきたい。

## 多様な性を認め合う社会

### 問 パートナリシップ宣誓制度の進捗状況は

「多様な性を認め合い、誰もが自分らしく生きることのできるまちづくり」を目指した取り組みとしてのパートナリシップ宣誓制度の進捗状況はどうか。3月までにどのようなことに取り組みでいくのか。

### 答 3月実施に向けて進めている

🎤 山下 人権課長

制度に関する要綱案や、当事者への適切な配慮や対応に関する職員対応マニュアル、制度導入で可能となる事務などの協議を行ってきた。今後は、審議会委員の意見やパブリックコメントの意見集約などを踏まえ、最終案を作成する。

10月には香南市にじいろのまち宣言を行い、11月の市広報紙やホームページでPRしていく。

### 問 ミスマーメイドについて見解を問う

高知市では、2020年からミス高知の名称をよさこい観光大使と改め、性別や未婚・既婚を問わず募集している。

男女は関係なく、どちらの性にも属さない人も大切にしていきたいという本市の人権課題からみて、ミスマーメイドをどう考えるか。

### 答 望ましくない

🎤 山下 人権課長

応募要件が女性に限られ、容姿に重きを置いた選考であるかのような誤解を生じる恐れがあり、多様性を認め合う社会の実現という観点からは望ましくない。実行委員会でも議論があり、今後検討していくと聞いている。

## 夏休みのプール活用

### 問 学校のプールに市営プールの役割を

異常な暑さが続いた今年の夏休みは、学校のプールで泳ぎたいという声が多く聞かれた。

市営プールのない本市では、学校のプールがその役割を果たさざるを得ないのではないかと。一定期間、学校の管理を離れ、市が責任をもってプールを活用していくことは考えているか。

### 答 現段階では難しい

🎤 西内 環境対策課長

監視員の確保や開放する学校をどこにするかなど課題が多く、現実的には非常に難しい。学校の在り方や市として子どもたちの健康をどう維持していくか、引き続き考えていきたい。

## 教育費の保護者負担軽減

### 問 給食費無償化の検討は

全国的に給食費の無償化を実施している自治体は増えてきている。

本市では、この間どのような検討をしてきたのか。

### 答 検討はしていない

🎤 三木 学校教育課長

安定的に給食を提供するには、一定額の利用者負担は必要であるとする考えに変更はない。今後、継続的に活用できる国からの補助金などがあれば、無償化の検討を進めることができる。



## 手話言語条例



馴田 文雄議員

### 問 条例制定を

手話を音声言語と同じ言語であると言言する手話言語条例は、全国47自治体で制定され、県内でも広がっている。本市でも制定を。

### 答 前向きに検討

🗣️坂本 福祉事務所長  
今後目指していく共生社会の実現に向けて、手話言語の普及や障がい者のコミュニケーション手段の利用促進が重要だと考えている。条例の制定とともに市民への啓発や行政の取り組みを前向きに検討したい。

## 補聴器 購入支援を

### 問 認識は

県議会は、高齢者の生活の質の維持や認知症予防などの観点から、補聴器購入への公的支援の必要性を国に訴えている。本市の認識は。

### 答 国の動向注視

🗣️都築 高齢者介護課長  
市として現時点では補助制度の導入は考えていないが、国に対して補聴器購入への助成や公的医療の導入を高知県市長会議として要望している。今後の国の動向を注視したい。

## 消防団員の確保

### 問 人数の推移と定数は

合併後の消防団員数の推移と、本市の団員の定数は。

### 答 現在は246名

🗣️山崎 消防長  
合併時に21人だった消防団員は現在246人となっており、おお

## 問 応援の店、拡大を

消防団員が利用した際に割引などのサービスを受けられる消防団を応援する店が市内にも9店舗ある。市が積極的に制度の周知を図ってはどうか。

### 答 連絡・調整を図る

🗣️山崎 消防長  
当該事業は高知県消防協会が実施しているもの。公務員である職員や団員が店舗に直接参加を促すことはできないが、商工会との連絡・調整等は可能だと思われる。できる範囲で店舗の拡大を図り、団員確保につなげたい。

## 国民健康保険

### 問 国保会計の状況は

本市の国保会計の現状と、今後の見通しは。

### 答 3年度は黒字

🗣️恒光 市民保険課長  
令和2年度の税率改定と3年

度の税収の伸びもあり、3年度は黒字決算となっている。不確定要素もあるが、今後も大きな赤字にはならないのではないかと考えている。

### 問 県基金の活用を

県の国保会計には、財政調整基金が36億円も積まれている。高知市長は、「保険料の負担抑制策は、高知県の基金活用による(市町村が県に納める)納付金の抑制にある」として、県へ基金の取り崩しを求めている。本市の県基金への認識を問う。

### 答 協議の対象にはなる

🗣️恒光 市民保険課長  
今後、統一保険料に向けて県と市町村の協議が行われていくことになる。基金の状況によっては県とともに協議していくことになる。

## コロナ待機者 支援

### 問 自宅待機者支援策は

高齢者や障がい者など介護の必要な人、日頃から孤立してい

る人や学生単身者などは、新型コロナウイルス感染症による自宅待機時に生活に困難が生じる。特に食料品や生活用品については、感染拡大状況によっては保健所の対応も難しくなる場合もあるため、市として一定の体制をつくるべきではないか。

### 答 自助・共助・公助で

🗣️伊藤 健康対策課長  
生活困窮者については、普段から福祉事務所が社会福祉協議会と連携して、食料等の生活物資を支援している。また、学生には友人・知人がいたら部屋の外等に食料品など置いてもらうようにアドバイスもしている。第7波では市内でも2千人を

超える感染者が出ており電話相談も非常に多かった。保健所の要請により、職員も感染者の安否確認やケアマネージャーとの連携を行っている。

市民には普段から感染を見越して、解熱剤や食料、栄養補助食品の備蓄をしてもらいたい。

## コロナ禍の介護 サービス事業所運営



林 道夫議員

### 問 収入減への支援は

長引くコロナ禍で、介護事業所も利用者減や休業に伴う収入減の影響が出ていると思うが、他課の支援事業も含め、収入減を補完する制度は。

### 答 他課の事業も周知

都築 高齢者介護課長

令和3年度からデイサービス等では、感染症や災害の影響で利用者数が前年度の平均延べ利用者数より5%以上減少した場合、3カ月間の報酬加算ができる特例があり、市内3事業所が活用している。

また、2年度に商工観光課の事業者等応援給付金に1事業所の実績があるが、高齢者介護課からは周知できていなかった。

今後は介護事業者も活用できる事業があれば、他課とも連携し周知していきたい。

### 問 物価高騰で負担増も

ウクライナショック等による光熱水費や物価高騰により、利用者の負担増や事業所の運営にも影響が出ているかと思うが、介護・障害福祉事業所等への支援策の検討は。

### 答 支援策を検討

都築 高齢者介護課長

グループホームでは、今年3事業所が光熱水費や食材料費の利用者負担を値上げしている。物価高騰の影響はあり、利用者や事業所の負担軽減に向けて、市指定の介護サービス事業所に対する支援策を検討していく。

## 農福連携の推進

### 問 来年度予算編成に 向け

これまでの取り組みと今後の計画は。

### 答 市が取り組むべき形 を検討

坂本 福祉事務所長

本年2月に、農福連携事業の推進等を目的に農林水産課、福祉事務所、県中央東農業振興センター、JA香美営農経済センターで市農福連携研究会を開催した。また、5月に農林水産課と福祉事務所が今年度の取り組みについての協議を行い、7月には障害者自立支援協議会就労支援部会に農林水産課も参加し、情報交換等を行った。

今後市内の農福連携の状況を把握・整理し、市がどのような形の農福連携に重点的に取り組むべきかを検討する。来年度の予算編成までには計画を立てたい。



風車の丘あけぼの施設外就労

### 問 推進する上での 農業側の課題は

### 答 受入れ側のミスマッチ を解消

小松 農林水産課長

農業者側が生産・商業ベースで捉えた場合に、ミスマッチングが起こる可能性があり、障害の特性に応じた農作業を割り当てることが、障害者の社会参加に貢献する取り組みであることなどを理解した上で、受け入れられる農家を見つけていくことが課題である。

## 香南市にじいろの まち宣言

### 問 10月に宣言を行う 意義は

3月の制度運用開始に先立って、この10月に宣言を行うというが、周知や意見集約の期間として十分か。

### 答 スムーズな制度導入 のため

山下 人権課長

制度制定前に宣言を行うことで、市民や企業等の理解が進み、よりスムーズな制度の導入が図れると考えている。

県内で初めて宣言を行った高知市では宣言から制度導入まで2カ月程だった。

### 問 ファミリーシップ等 への拡大を

本市のパートナーシップ宣誓制度対象者の範囲は。



### 答 対象者の拡大は 今後検討

山下 人権課長

対象は、一方または双方が性的マイノリティーの2人が互いを人生のパートナーとして協力し合うことを約束した関係としており、同性カップルに限らずトランスジェンダーも利用できる。

ファミリーシップ制度など対象を広げることについては、他自治体の動向を注視しながら検討していく。



## 各委員会の開催状況

〔7月〕

11日

**こうなん市議会だより編集委員会**  
 (市議会だより〔No.64〕の編集等)

### 教育民生常任委員会

(コロナ対策で改修を行った市内保育・学校訪問等視察)

29日

**議会改革調査特別委員会**  
 (香南市議会政治倫理条例(案)等)

〔8月〕



1日  
**こうなん市議会だより編集委員会**  
 (市議会だより〔No.64〕の編集等)

9日

**議会改革調査特別委員会**  
 (香南市議会政治倫理条例(案)等)

12日

**こうなん市議会だより編集委員会**  
 (市議会だより〔No.64〕の編集等)

22日

**議会運営委員会**  
 (第103回香南市議会定例会の会期及び会議の予定・意見書の取り扱い等)

〔9月〕

12日

**決算審査特別委員会**  
 (正副議長の互選等)

### 総務常任委員会

(第103回定例会付託議案2件の審査等)

### 教育民生常任委員会

(第103回定例会付託議案3件の審査等)

### 産業建設常任委員会

(第103回定例会付託議案4件の審査等)

26日

### 議会改革調査特別委員会

(香南市議会政治倫理条例(案)等)

〔10月〕

5日

**教育民生常任委員会**  
 (児童クラブ民営化についての研修等)

### こうなん市議会だより編集委員会

(市議会だより〔No.65〕の編集等)

### 総務常任委員会

(八重瀬町交流視察研修等)

17日

### 議会運営委員会

(第104回香南市議会臨時会の会期及び会議の予定等)

19日

### 議会改革調査特別委員会

(政治倫理条例についての講義)

21日

### 教育民生常任委員会

(児童クラブ民営化についての研修)

## その他議会の動き

7月28日

### 市町村議会議員研修

10月20日

### トップセミナー

## 行政視察報告

### 教育民生常任委員会

委員長 中屋 和彦

去る10月21日に来年より、公設民営化される放課後児童クラブの視察勉強会を関係各課参加の元開催いたしました。民営化にあたり、どのような組織を作り財源の確保、また、障害を持ちえる児童の受け入れ体制他、今後の運営にあたり安心安全に事業を継続出来るか等、意見交換をいたしました。

今後も放課後児童クラブについては教育民生常任委員会として様々な視点から検討してまいります。

### 市議会だよりについて

市議会だよりは、誌面の都合上概要を掲載しています。よって、現時点では議案質疑に質問議員名等詳細について記載していません。

市議会だよりの内容について詳しく知りたい場合は、議会事務局において「香南市議会会議録」を閲覧できます。「会議録」には、質問を行った議員及び市当局の答弁のすべての状況が記録されています。

また、香南市議会のホームページに「議事録検索システム」機能がありますので、ご利用ください。

不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。  
 TEL: 57-8513

(※会議録は、会議終了後、約3カ月後までに、作成及び掲載しています。)

### お知らせ

3月定例会の開催予定

●2月27日(月)

9時30分から開会

# 行政視察報告

## 具志頭運動公園（八重瀬町スポーツ観光交流施設）

姉妹都市である沖縄県八重瀬町からの10月30日に開催される「YASEE 結フェスタ」への招待に合わせ、議会として当時の具志頭運動公園や図書館・子ども学習センター、みやぎ農園等の視察を行った。

平成28年に、スポーツ施設と観光資源との連携を強化する目的で、「八重瀬町スポーツ交流マネジメント計画」を策定し、具志頭運動公園を「観光スポーツエリア」と位置付け、整備を進めてきた。

本年8月、サッカー場、フットサル場、トレーニング室や会議室を完備した管理棟等が完成した。令和元年6月には、J2（当時）サッカークラブのFC琉球が、同運動公園を練習拠点とすることで合意している。

プロの練習を近くで見られることで、子ども達への好影響や誘客促進等の地域振興にも大きな期待が寄せられている。また、町民は割安の利用料設定で

最新の機器を使ったトレーニング室を利用できること等、町民の健康にも寄与する施設である。



具志頭運動公園  
(八重瀬町スポーツ観光交流施設)

本市にも多くのスポーツ施設があるが、八重瀬町の「観光スポーツエリア」の考え方は非常に参考になる。また、当町の、計画的、かつ、継続的にスポーツ観光振興に取り組む姿勢に共感すると同時に、本市の施策の参考にした。

### 八重瀬町図書館・子ども学習センター

今春、屋原地区に開設された「図書館・子ども学習センター」は、長期間未利用であった町有地を、事業用定期借地契約により、民間業者に賃貸し、

民間活力により建物を建築し、有効利用することに成功している。建物1階には学童クラブ、2階、3階には図書館・子ども学習センター、4階・6階には賃貸アパートを配置。

町としては、建物の維持管理費が不要であり、敷地の地代、建物の固定資産税、アパート入居者からの住民税が歳入となるメリットがある。また、補助金を利用した施設ではないので、補助目的に縛られずに、時代の変化に応じて用途変更ができる点も大きなメリットである。

学童と図書館の一体型に関しては、町民の評価も高く、町民の期待に応え得る施設であると感じた。事業構想は、本市においても遊休地の活用や新施設の建築等を計画する際に参考になると感じた。

(宮崎 晃行 議員)

### 「みやぎ農園」 ―農福連携の取り組み―

農福連携の取り組みを事業の中に組み込んで業績を上げていくみやぎ農園を視察し、宮城盛彦会長からグループの概要と取り組み内容を聞いた。微生物を

使った循環型農業を目指して実践的取り組み、「おいしさ」を追求すると共に、生産を含めて無駄のない製品作りをしている話は話上手も相まって飽きさせない内容であった。



宮城農園にて

農業から、一次産業の価値創出をし、地域の農家も含めた生産の向上に対する熱量も相当なものであった。事業を拡大する中で、人出不足の問題が浮上、解決策の一つとして障がい者を雇用。障がいを持ってはいるが、その程度に合わせて仕事を細分化し、適材適所に配置することで、健常者と変わりない戦力として仕事に従事していると聞いて驚きを隠せなかった。話を聞く中で印象的だったのは、「精神的障がいがあるかもしれないが、それは心のケガであっ

て、時間をかけて理解すれば何の問題もない。」と言い切れる自信。日々実践の中から出てくる言葉だけに重いものがある。農福連携を持続的に進めるには、マンパワーが鍵になる事はもちろんであるが、一人だけでなく、より多くの理解者と機能する戦略づくりがポイントの一つであることを気付かされた。

### 南城市役所 議会のペーパーレス会議

議会のペーパーレスをいち早く取り入れ活用している南城市議会を視察した。

導入しているタブレットは、本市で採用しているものとは異なっているので全てが参考になる訳ではないが、早期に導入しているだけに、委員会での使用や議員間での連絡など多岐に使われていた。

主な相違点として、招集告示及び議案の送付は本市と同じだが、一般質問通告書、議案審査資料要求書の提出や常任委員会の要点筆記及び意見書等の文書をメッセージで配布する点が本市と異なる。

(小泉 潤 議員)





サークルの様子

表紙は誰?

手話サークル「くまの会」

今回、表紙を飾るのは、聴覚障害者を支援する手話サークルひよこの会の皆さん。

イベント等で会場や舞台の袖で手話通訳されているイメージが強いが、本来は地域や仕事場で手話が広がり、手話通訳者の養成に繋がることを願っていると伺った。

最近では、本市で現在進行中の防災無線システムに聴覚障害者や難聴で聞こえにくい人のための気付きになる方法を進言したり勉強会を開いたりして、「いざ」という時の備えに成る事を一緒に考えている。

市役所にも、地震等の災害が起きた時に、サイレンは聴者にはわかるが、主に視覚に頼っている聴覚障害者にはまだまだ不備が多いと聞いた。

実際に指摘を受けるともっともなことばかり。「できれば、手話通訳できる職員がいたり、通訳はできなくても手話で伝え合いができる職員がいるだけで距離感が縮まるので、是非考えてもらいたい」と切実に話された言葉は重く感じた。

編集後記

コロナウイルス感染から始まり、ロシアによるウクライナに対する軍事侵略が続く中、市民の皆様には色々な物の物価上昇や農産物の価格低迷など大変な思いをされていることと思います。皆様の生活を少しでも良くするために、議員一丸となって市政に取り組んでまいりますので、議会の傍聴や議会だよりを読んでくださり、お声をかけ下さい。(T.O)

議会の傍聴してみませんか

議員の活動や市政方針についての議論などを、実際に見聞きされてみてはいかがでしょうか。個人でも団体でも自由に傍聴できます。

なお、傍聴にあたっては、傍聴席入口にて、受付票に氏名と住所の記載をお願いします。

(★現在は新型コロナウイルス感染症感染防止のため、マスクの着用をお願いしております)

